◇二十日替り◇
東亞超特作
光岡龍三郎主演
幡隨院長兵衛
後篇
片岡左衛門、小川雪子助演
草津温泉小唄映畫
盲ひの小鳩
杉村チエ子、皐月あやめ主演
帝キネ特作大岡政談の内
明石線郎主演
村井長庵
嵐璃德、生野初子助演
普通席　金二十錢
有聲座

新學年の
御用意
學生カバン
小供用背嚢
筆入紙挾
計數石盤
◇各學科參考書類
マルトモ　柴田書店
電話二三四番
九〇五番

合名會社
藤澤商會
喫茶部新設

確ナ体溫計
寒暖計
關大藥局
電話一〇番

父久太郎儀永々病氣の處療養不相叶三月十八日午後八時死去仕候間此段御通知に代へ謹告仕候

追而來る二十一日午後一時自宅出棺平町九品寺に於て告別式相營申可候

月十九日

男　諸橋元三郎
親戚總代　諸橋久四郎
諸橋次郎
阿部唯次
馬目德三郎
諸橋敬一郎
坂本隆藏
馬目瑞子
鈴木堅助
友人總代　山崎與三郎

開店御披露
江戸前料理
會生
出前は迅速　錦水
田町末廣東隣り
電話四二一八〇三番

內科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話長平五〇七番

臺灣總督府保健技正醫六位酒井載男儀永年任地臺南ニ奉職罷在候處昨年八月膽嚢疾患ニ罹リ九州帝大赤岩外科ニ於テ療養中藥石効無ク十月廿六日遂ニ死去仕リ同十一月四日任地ニ於テ官葬ノ榮ヲ賜ハリ候就テハ今般郷里草野村光明寺ニ於テ本月廿一日午前十時ヨリ正午迄告別式相營ミ候ニ付此段生前辱知諸君ニ謹告仕リ候

追テ御香奠並ニ御供物等ノ儀ハ甚勝手乍ラ堅ク御辭退申上候

昭和五年三月十九日

遺族　妻　酒井たつ
嗣子　男　酒井菊雄
親戚總代　酒井義政
高岡唯一郎
酒井國三郎

平町紺屋町
電話長平五〇七番

三月二十一日寫眞替り
曲藝代時活日
龍卷長屋
演主子京井櫻・郎四妻新
日活松竹
平舘
電四六六
ロップ妻阪供提竹松
花骨牌
演主・郎三妻東阪

日活超大作映畫一九二九年度の先端に立つ名篇
都會交響樂
夏川靜江・小杉勇・入江たか子・高木永二・瀧花久子
其他オールスターキャスト

大正十二年十一月八日
第三種郵便物認可
常磐毎日新聞　(第一千八百四十一號)(一)

常磐毎日新聞
三月二十日夕刊
定價　一部金貳錢　一ヶ月廿錢　郵税五厘
廣告料　五號十二字詰一行　五十錢
休刊日　日曜大祭日　祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番
發行兼編輯人　印刷人　川崎文治
本社ト同番地(電話六三〇番)
印刷所　常磐毎日印刷所

寄書

救われた人

(五)

後藤靜香

救われた人ならば、全く新しい世界が見え全く新しい希望が胸に燃えあがつて居ます、彼は必ず朝の人です來世への望みも持ちますが此の世で爲すべき事幾らでも眼前にちらつきます。仕事が無いと手を拱いて居る人その方は救われて居りません。救われた人は、忙しくてたまらない、仕事が見えるころげこむ働いても働いてもまだ何にもした氣持になりません救われた人はいつまでも朝の人實に黎明の人でございます。

救われた人は平和を求めます。進んで爭わないことは勿論他の人から議論を吹つかけられてもなるべく穏やかに受け流します、負けて逃げます。あやまれと言われればあやまります救われた人は分らぬ相手に對し實に意氣地無しになりますこの意氣地無しは本當の勇者です。虎と爭うことの愚を知つて居ます。虎に出あつて逃げたからとてそれが臆病ではありません、氣狂に出あつて頭を下げると言われ言葉のまゝに下げて彼の暴行を逃れたからとてそれが卑怯ではありません、以上七つの條項に照し本當に救われた人がどんなものであるか深く考えて見たいと存じます

(をはり)

學生鞄の
大廉賣
可愛お小供樣の通學用鞄は森下商店に……
平町一丁目
玩具
文具
糸類
森下商店
電話八六〇番

今年の花の山に廣告燈は絶望らし

平町の景氣に影響すると板挟みの武田所長

櫻も間近となつた、花と光の交響樂そして歡樂境と化する松ヶ岡、而し本年はアノ公園を彩る廣告燈がどうなるかが氣にかゝる、といふのは此の不景氣に加へて例の

電燈の値下爭議　平町と會社が睨み合ひの折柄であるから美觀を添える上に於ての協調が果して遂げられるかどうか若し花の山に光りの伴奏がなかつたとすれば俄櫻が一向に引立たず結局

平町の花見景氣　に影響する處が少くない此の點が氣に懸る其處で東部電力平營業所に武田所長を訪ねて聞けば

『本社からは此の不景氣の際であるから自發的な廣告燈募集を見合せよそして若し團體等から點火の希望があれば臨時燈として定規の料金を申受けよとの事です』

と云ふ處に依つて見れば花間を彩るボンボリや花提灯は先づ絶望の譯であるが是れでは値下問題の折柄反つて一般からの反感の的となり

同問題　は一層惡化するであらうと詰め寄れば

『其處が私の辛い處なのです、私は平町と會社との中挾みになつて孝ならんと欲すれば忠ならずの進退兩難に陷つて居ります本社では私が赴任すればなにか華手な事でもやつてのけるのぢやないかと睨んで居る模樣ですから十迄本社の命に從へば平町からの氣受けが惡しく辛いですよ臨時燈の料金では到底花の山を飾ると云ふ程の結果を見る事が出來ないのが判つて居ますから今本社の方へ多少のユトリをつける樣諒解を受ける爲めに交渉中ですがサアどうなるか……』

と日頃は樂天家らしい武田所長も流石に眉間に憂色を漂はして居た

持直る豫想外れ

産米漸次下向く

農家は悲觀のドン底

石城郡地方に於ける産米は漸次下向きとなつて來つゝあるので農家ではそれ〴〵對策を研究してゐたところが大浦農會の共同米取引相場は既報の如く三等米が十圓五十五錢、四等米が十圓二十七錢、五等米が九圓八十七錢で前回の取引相場と殆ど同樣であり幾分づゝでも持ち直るものとの豫想が外れたので農家では悲觀し切つてゐる大浦共同販賣は一回の取引に三百俵から四百俵位づゝの取引があり常に好成績を納めてゐるので同販賣の成績が石城郡地方産米の標準相場とも見られてゐるので今回の居据り的相場は取引者を悲觀せしめたのである

石城の入賞清酒

小錦、鶴仙、白馬の雪

本日褒賞授與式

石城酒造組合では本月十八日より三日間平稅務署樓上に於て清酒唎酒會を開催したが出品百七十九点の中左記二十點入賞した尙本日午後二時同署に於て入賞者の褒賞授與式を擧行する由

△優等賞　小錦（高久村和泉屋酒造本店）鶴仙（平窪村松吉屋酒造店）白馬の雪（同村松本德一）

△壹等賞　福美（内郷四家又一）花の友（平町山崎元三郎）福鶴（高久村本馬佐源次）長生（小名濱町磐崎屋

△貳等賞　稻妻（植田町古川傳一）正駒（永戸村會田正一）松の友（草野村豊田吉松）山泉（三坂村熊谷長一）三國一（赤井村渡邊貞三）以下三等八名

今晩……

森少將講演

材木町青年主催

平町材木町青年分團にては本廿日午後六時より磐城訓盲院に於て講演會を開き海軍少將經濟學士森電三氏（日本生命仙台支店長）の經濟問題と軍備と絡する講演あり終つて活動寫眞我等の日本、世界のうつり、乃水將軍外數種ある由

サツキ窃盜

三本で捕る

平町紺屋町三草花商佐藤仙吉（三）は昨日午前二時頃同町道匠小路山名久吉（六）方庭内よりサツキ三本を窃取平署員に捕はれた

聚樂館の涙曲

聚樂館にては廿一二の兩日木村重友一行の浪花節にて蓋を開けると

水と油

油は水よりも輕い、で水は底に油は上部に各二層に分離します、この際油の約半量の水を入れガラス瓶につめてよく振り一日位置くと油は透明になり水と分れます、この時油の中の不純物は水にとけて油は精製されます、油をとるにはゴムの管を用ひてサイフォンで分けるか罐を傾斜させるかするのですが、油の中にはまだ小量の水が交つてゐますから完全に除去するには藥品を用ひるか熱でとるかで百度近くに熱すると水が沸騰し油は少々とびますから靜かに攪拌しながら百度以上にするかくして水分を取つた油は揚物等には充分用ひられます

明日の天氣豫報

北東の風　曇り勝ち　小雨

公益質屋設置

湯本低資陳情

石城郡湯本町では今回公益質屋を設置することになりこれが資金五萬五千圓の低利資金を借り受けたいと十八日縣社會課へ陳情する處あつた

櫻花の頃

本縣組頭大會

平町で開催

消防常任委員會は十八日開き十九日は七名の特別委員を以て種々協議したが本縣消防組頭大會は櫻花の候四月十五日平町で擧行する事になつた

平町人事

▲出生

△月見町二三　根本清一氏二男利男

△七軒町三五　作山誠一氏五女ルリ子

▲死亡

△五丁目六　諸橋久太郎（六六）

生産制限の結果

約五十名を馘首

磐城セメントの整理

石城郡四倉町磐城セメント會社四倉工業所では財界不況の結果セメントの需要が激減したので之が

對策と　し生産の過剩を防ぐ爲めに毎月生産制限を實行しつゝあり曩に數回に亘つて從業員の整理を行ひ内容の整理をなした而し其の後不景氣はます〳〵深刻化して來るのみであり一ヶ月間の中十日以上も生産制限の爲め休業する狀態なので近く

從業員　の中職工約五十餘名を整理する事に内定してゐると傳へられ三月下旬から四月上旬に整理を發表するものと噂されてゐる

鷹崎産看卒業

平町一丁目石城産婆看護婦學校では明日午後二時より第三十回卒業證書授與式を擧行するが卒業生左の如し（イロハ順）

▽産婆科　石井イク、遠藤シマ、猪狩正子、猪狩マサ、長谷川タマヨ、西山ヨシ、佐川ヨシノ、鍋田君代、大河内美智、大槻ナミ子、小野政子、若松ミツ、渡邊フヨ、和田カツヨ、片寄ユキ、金成秀子、吉田イク、高木シヅカ、瀧スヅイ、谷平キイ、村田タマヨ、熊谷幹子、柳内マサ子、丸子トリ、小林フミ、今野ナカ、阿部君代、酒井榮子、佐藤きみ代、酒井キヨ、佐藤美代子、佐藤千代、佐藤スイ、佐川ヒデ、菊田ハル、日黒光子、水野ムメ、鴫原サク、白坂ハルノ、門傳ハナ子、先崎ミイ、瀬谷スイ、關本正子、鵜沼あきの、マサノ、菅原ミツエ、鈴木

▽看護科　石井イク、長谷川タマヨ、西山ヨシ、戸部ノブエ、岡田君代、大河内美智、大槻ナカ子、大平富子、渡邊フヨ、和田カツヨ、片野ユキ、金成秀子、吉澤德代、吉田弘子、高木シヅカ、高木正子、瀧スツエ、長瀬イク、中村ハルヨ、村田マサ子、柳内マサ子、小賀キヨ、松川京子、船生アキ子、小林フミ、天野チエ子、阿部君代、佐藤きお代、酒井榮子、佐藤美代子、佐藤千代、佐藤スイ、齋藤みゑ、佐藤トメヨ、鴫原サク、先崎ミイ、瀬谷スク、關本マサノ、菅原ミツエ

落雷で電燈線に傳はり跳飛さる

廿二の青年人事不省

十八日午後三時頃大雷雨の折石城郡好間村大字北好間字上の台地内の電線に落雷し電線約四十間程切斷されたが其際同所志賀長壽方の電燈線に傳はり居はせた長男義長（二）が感電跳飛ばされて一時人事不省に陷へり附近の電燈等にも故障を生じて大騒を演じた

美味で評判の
田町
イワキサロン
電話三五二番